

令和8年大会アピール

本日、令和8年「北方領土の日」を迎え、我が国固有の領土である択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島、すなわち北方四島の返還実現を求め、「令和8年北方領土返還要求全国大会」を開催しました。

北方領土がソ連によって不法に占拠され80年も過ぎました。なぜ北方領土は返還されないのでしょうか。強い憤りを禁じ得ません。

日露両国は、1956年に調印した日ソ共同宣言により国交が回復し、以来両国は平和条約の締結に向けた協議を重ねてきました。

しかし、昨今の混迷する国際情勢の影響を受け、ロシア政府は平和条約交渉の中止を一方向的に通告、さらに30年以上続けてきた北方四島相互交流事業や北方四島を故郷とする元島民の墓参すら中止を通告してくるなど、日露両国の関係は最悪の状況にあります。

90歳を迎える元島民の願い「生きているうちにお墓参りがしたい」その望みすら叶いません。人道的な観点からも墓参の再開を強く求めます。

大会では、北方領土問題を取り巻く環境が厳しい今こそ官民が一体となり北方四島の返還実現を目指し、これまで以上に返還要求運動に取り組む意思を確認しました。

私たちは、北方四島の返還実現を目指し、次のとおり決意を表明します。

記

- 一. 日露両国間の関係改善と平和条約締結に向けた交渉の再開を強く求めます
- 一. 北方墓参の一刻も早い再開を強く求めます
- 一. 北方四島交流事業の再開を求めます
- 一. 署名活動をより一層推進します
- 一. 北方領土に残存する日本の施設などの保存に努めます
- 一. あらゆる機会を通じ、北方四島の返還こそ日露両国の真の友好関係を築き、ひいては世界平和に寄与するものであることを訴えます

令和8年2月7日 北方領土の日
令和8年北方領土返還要求全国大会